

2014 年 10 月吉日

お客様各位

CAESEKI.com 事務局
(カイセキドットコム)

「第 27 回 経営に貢献する CAE セミナー」のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、CAESEKI.com におきましては、毎年恒例の掲記セミナーを以下のように開催いたします。
ご多忙の折、誠に恐縮ですが、是非ご出席を賜りたくお願い申し上げます。

敬 具

— 記 —

1. 名 称 : 第 27 回 経営に貢献する CAE セミナー
2. 開催日時 : 2014 年 12 月 12 日(金) 13:00~19:30 (懇親会を含む)
3. 会 場 : 刈谷市産業振興センター小ホール
4. 参 加 費 : 無料(懇親会を含む)
5. 申込方法 : 以下の URL よりお申込みください。
<https://seminar.jp.fujitsu.com/public/seminar/view/2805>
6. 定 員 : 120 名
7. 趣 旨 :

製造業におかれましては、市場での生き残りを賭けて、製品の企画・開発プロセスのデジタル化を急速に進められています。その中でも CAE の活用は大きな役割を担っています。このような状況に対応して、CAESEKI.com 事務局(富士通グループ)では、お客様に CAE に関する有用な情報をご提供すると共に、業種横断的な情報交流の場をご提供することを目的として、セミナーを開催しております。

本セミナーでは、『経営に貢献する CAE』をテーマに開発プロセスの革新とともに、CAE の活用により経営に貢献されているお客様にお願いいたしまして、取り組み、効果、IT 技術への一層の期待などを、ご紹介頂く予定です。

8. CAESEKI.com について

CAESEKI.com は、富士通株式会社が主催し、デジタルプロセス株式会社、株式会社富士通システムズ・イースト、株式会社富士通九州システムズ、富士通アドバンステクノロジー株式会社が参加する日本最大級の解析シミュレーション・コンソーシアムの名称です。

セミナー連絡先:

株式会社富士通システムズ・イースト
解析シミュレーション部

担当 山浦

電話番号: 03-5977-5757

電子メールアドレス: seminar27@caeseki.com

ホームページ URL: <http://www.CAESEKI.com/>

経営に貢献する CAE セミナー詳細

開催日時: 2014 年 12 月 12 日(金) 13:00～19:30 (懇親会を含む)

会 場: 刈谷市産業振興センター小ホール

セミナー内容

12:00	受付開始	(司会:デジタルプロセス株式会社 デジタルコンテンツサービス部 部長 荒井 昭)
13:00 – 13:10	ご挨拶	株式会社富士通システムズ・イースト 解析シミュレーション部 部長 福島 正雄
13:10 – 13:50	事例講演 I	「CAD/CAM/CAE の連携と VE の将来像について」 株式会社本田技術研究所 四輪 R&D センター 開発推進室 CIS ブロック 高村 知昭 様
13:55 – 14:35	事例講演 II	「ブレーキディスク解析ツールによる、CAE プロセスの改革(続編)」 株式会社キリウ 開発部 主管 湯本 浩之 様
14:35 – 14:55	休憩	(デモ・展示)
14:55 – 15:35	事例講演 III	「ライセンス設計・生産における新たな CAE の役割」 日立造船株式会社 機械・インフラ本部 機械事業部 原動機ビジネスユニット 設計部 計画設計グループ 川越 広規 様
15:40 – 16:20	事例講演 IV	「船舶用プロペラへの CFD 適用の現状と展望」 ナカシマプロペラ株式会社 エンジニアリング本部 プロペラ設計部 プロペラ・ポッド推進性能室 室長 蓮池 伸宏 様
16:20 – 16:40	休憩	(デモ・展示)
16:40 – 17:20	事例講演 V	「スーパーコンピュータと数値シミュレーション 航空機の研究における数値風洞開発とその利用」 埼玉工業大学 工学部 情報システム学科 非常勤講師 中村 孝 様
17:20 – 17:40	「CAESEKI.com 事務局からのお知らせ」	富士通株式会社 テクニカルコンピューティングソリューション事業本部 HPCアプリケーション統括部
18:00 – 19:30	懇親会	刈谷市産業振興センター 会議室 401

注. プログラムは変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

ご講演要旨

事例講演Ⅰ 「CAD/CAM/CAE の連携と VE の将来像について」 株式会社本田技術研究所 高村 知昭 様

デジタル技術の進化・発展に伴い、従来の CAD/CAM/CAE という考え方から VE(バーチャルエンジニアリング)という新たな考え方が生まれてきている。本発表では、ホンダのデジタル開発における最新の取組事例の紹介と併せて、VE の将来像について考察する。

事例講演Ⅱ 「ブレーキディスク解析ツールによる、CAE プロセスの改革(続編)」 株式会社キリウ 湯本 浩之 様

第13回の本セミナーにて、ブレーキディスク専用の解析支援ツールについて紹介した。本ツールにより、製品設計期間の大幅短縮と、開発初期での設計品質向上が可能となった。今回は、本ツールのその後の活用について紹介する。

事例講演Ⅲ 「ライセンス設計・生産における新たな CAE の役割」 日立造船株式会社 川越 広規 様

日立造船では1951年からライセンス設計のもと船用ディーゼルエンジンの設計・製造に取り組んできました。

ライセンサーのメイン CAD 移行に伴い2002年に3DCADを導入し、現在では3次元CADによる設計業務が定着しており、CAE活用による業務の高度化を目指しています。

本講演では、ライセンス設計という特殊な設計環境の中で、いかにCADやCAEを有効に活用していくかについての弊社のこれまで取り組みをご紹介します。

事例講演Ⅳ 「船舶用プロペラへの CFD 適用の現状と展望」 ナカシマプロペラ株式会社 蓮池 伸宏 様

国際海運の地球温暖化ガス(GHG)削減、省エネ運行を目的として、船舶のエネルギー効率設計指標(EEDI)値による船舶の燃費性能評価が2013年より実施されることになり、船舶用プロペラに対する高効率化の要求はとどまるところを知らない。プロペラの高効率化においては、翼強度、キャビテーションエロージョンリスク、船尾変動圧を許容限度内に抑える必要があり、CFDをはじめとするCAEはプロペラ設計にとって、欠かせないツールとなっている。CFD計算の高並列化をはじめとするCAEへのとりくみと将来の展望を紹介する。

事例講演Ⅴ 「スーパーコンピュータと数値シミュレーション 航空機の研究における数値風洞開発とその利用」 埼玉工業大学 中村 孝 様

1980年代、航空機全機の周りの流れをシミュレーションするには、当時世界最高速のスーパーコンピュータVP400をもってしても1日以上を要した。しかし、設計現場では、設計者がアイデアを確認するために許される待ち時間はせいぜい10分と言われていた。そのためにはVP400の百倍以上の性能が必要となった。その実現を目指し、航技研では国内外のコンピュータメーカーに呼び掛け、最終的に国内3社と共同で実現可能性の研究を行った。要求性能を満たしたのは、富士通提案によるベクトル型並列計算機(後に数値風洞、NWT)であった。ここではその開発経緯とその利用について解説する。

注)航技研:航空宇宙技術研究所、現在は、宇宙航空研究開発機構航空本部

刈谷市産業振興センター 交通案内

※ 詳しくは、<https://www.city.kariya.lg.jp/shisetsu/sangyokeizai/sangyokoshinsenta/>より ご参照願います。
ご来場の際は、最寄りの公共交通機関をご利用下さい。



以 上